

NIKKEN SEKKEI
Quarterly

2007/Winter

目次

watching	02	武庫川女子大学 建築スタジオ
	03	建築スタジオと甲子園会館 大河原 量
	04	旧甲子園ホテルへの敬意と挑戦 松葉一清
	06	未来の建築家を育てる場 川島克也・岡田耕治
perspectives	08	日建スペースデザインのプロダクトデザイン 片山 賢
topics	10	ベトナム・ハノイで構造技術展を開催しました シテイスケープドバイに出展しました UAEにてシンポジウム&展覧会を開催しました ベトナム・ハノイに駐在員事務所を開設しました UAE・ドバイに駐在員事務所を開設しました ISOに基づく品質・環境マネジメントを継続しました
	11	受賞から
都市経営フォーラム	13	第233回 環境イノベーションによる新しい文化の創造 山本良一
works	14	竣工しました 秋田魁新報社 さきがけ印刷センター 名古屋学芸大学 メディア造形学部D棟 軽井沢町保健福祉複合施設 木もれ陽の里 瑞浪市地域交流センター ときわ 仙台ファーストタワー (第1期)
日建設計グループニュース	18	日建設計シビル
	19	日建設計コンストラクション・マネジメント

表紙 武庫川女子大学 建築スタジオ

発行: 株式会社 **日建設計**

東京都千代田区飯田橋2-18-3 〒102-8117

広報室 Tel: 03-6478-8334

Fax: 03-5226-3044

URL: <http://www.nikken.co.jp>

制作: 森本常美(株式会社 オーム)

協力: 石堂 威(都市建築編集研究所)

印刷: 日本平版印刷株式会社

撮影: 武庫川女子大学 建築スタジオ=岡本公二

篠澤裕 フォト昴 そあスタジオ

宮本真治 岡本公二 (順不同)

NIKKEN SEKKEI
Quarterly

2007
Winter



watching

武庫川女子大学 建築スタジオ

建築主 学校法人 武庫川学院
所在地 兵庫県西宮市
敷地面積 35,626.84m²
延べ面積 7,559.94m²
構造 鉄筋コンクリート造、
一部PC造、鉄骨造
階数 地上3階
竣工 2007年3月



甲子園会館



今回、建築スタジオが完成し、甲子園会館とともに本学の建築学科の校舎が整いました。甲子園会館はフランク・ロイド・ライトの愛弟子・遠藤新の設計で1930年に竣工した旧甲子園ホテルであり、この名建築にふさわしい活用方法について長い間試行錯誤を続けてきましたが、われわれとしてはこれで最適な使い方ができたと思っています。

本学が建築学科を創設したのは、日本の建築教育は欧米に比べて工学的な面に力点が置かれすぎていること、また、学生たちの思いやニーズを調べてみると、建築デザインの勉強をしたいという希望が結構あることがわかったので、女子大としてパイオニア的なことに挑戦してみようとなったものです。UIA/UNESCO（世界建築家教育基準）やJABEE（日本技術者教育認定機構）の基準にも合致する、欧米型の建築教育をするために、それまであった家政系の住居学科の経験も活かしながら創出したわけです。理想の建築教育を行うには学生一人ずつ占用の製図デスクやパソコンがほしい、教育機能を甲子園会館と新校舎で分担しながらそれを一体的に使った教育をしたいということで、建築スタジオの構想が立ち上がりました。

watching

武庫川女子大学 建築スタジオ

建築スタジオと甲子園会館

大河原 量

武庫川学院・武庫川女子大学理事長



いるのが建築学科なのです。

甲子園ホテルは「西の帝国ホテル」といわれた高級ホテルで、戦時中には海軍の病院として、戦後は進駐軍の宿舎やクラブとして使われました。その後、旧大蔵省の管理となり、一時は荒れ果てていましたが、本学院の校祖である公江喜市郎が熱心に働きかけて1965年に払い下げを受けました。その時に3つ条件があって、教育文化活動に使うこと、建物の外観を維持すること、そして周辺を整備することでした。払い下げ当時は建築面積くらいの敷地しかなく、建物から道路へ出るにも他人の土地を通らなければならなかったのですが、鳴尾財産区と阪神電鉄さんのご理解、ご厚意によって今のような敷地になりました。この緑地は西宮市にとっても貴重な財産です。建築スタジオも住民の方々のご理解を得てつくりたいと思い、高校生や一般の人たちを対象にアイデアコンペを実施し、そのアイデアを設計にも活かしました。国道2号線で武庫川を東から西に渡ってくると、森の中に建築スタジオと甲子園会館が見え景色が一変しますが、こういう環境が生まれたことを山田西宮市長様をはじめ、多くの市民の方々に喜んでいただいています。

建築スタジオについては、学科長の岡崎甚幸教授をはじめ先生方の機能面での要求がいろいろあって、一方では当然コスト面の制約があり、しかもライトや遠藤新さんの設計思想が感じられる建築にできないかということで、日建設計にもいろいろ考えていただきましたし、その辺が一番苦労したところでした。

建築学科では、フィールドワークでいろいろなものを見てレポートを書いて発表することや、作品をつくって発表し、それを講評するというように、女性本来の感性を発揮すると同時に、世の中に説明し、説得する力をつける教育が狙いです。私は、21世紀に期待される女性像とはそういうものではないかと思っています。本学の立学の精神を今日的に解釈し、21世紀の女性をめざした教育を展開するのが全学的なスタンスであり、それを象徴的に表して



旧甲子園ホテルへの敬意と挑戦

松葉一清

建築評論家 朝日新聞編集委員

大阪と神戸の間に広がる良好な住宅地、「阪神間」と呼びならわされたこの地には、質の高い文化遺産が今なお点在している。「甲子園ホテル」はその筆頭格のひとつだ。西宮市と尼崎市を流れる武庫川の西宮側のほとり、阪神間の東の縁に「西の帝国ホテル」は半世紀以上も優雅な姿を横たえてきた。このホテルは武庫川の自然、とりわけ夏の涼風を想定して建設された、今でいうアーバンリゾートの先駆けだった。

国道1号(京浜国道)は東京から東海道を西へ向かい、大阪に入ると2号(阪神国道)と名を変える。その阪神国道が武庫川を渡るのが武庫大橋。かつて国道には阪神電鉄の路面電車が走っていた。橋上の路面電車を前景に、「甲子園ホテル」を遠望する風景は、中学生だったわたしの目にも不思議な懐かしさとともに焼きついている。

設計者が遠藤新であり、遠藤がフランク・ロイド・ライトの右腕だったことなど知る由もなかった。だが、水平の低い建物、少し間隔をおいて細い双塔がのびる姿は、直感的に戦前の阪神間を偲ばせる光景と認識できた。国家の成り立ちが、是非はともかく強固であり、関西が中核を担っていた時代への懐古の念である。

その建築遺産の敷地を含む全体が、大学の建築学科のキャンパスになるなど想像もしなかった。理想的な転用である。旧ホテルの建物は美しく改修され、中層の新校舎が敷地内に立地を選んで建設された。「武庫川女子大」の建築学科である。1学年40人の学生が、6年間の国際基準の教育プログラムを履修する。武庫川学院が、甲子園ホテルを取得して、学生会館に使っていたことに感謝の念を抱いていたが、そこから大きく一歩未来に踏み込んだ姿勢に、さらなる感謝と賛同の念を覚える。

キャンパスへの衣替えにあたって、大手設計組織が参加する設計プロポーザルが

催された。ライトの研究者として知られる谷川正己も審査員に加わったプロポーザルの勝者は、日建設計だった。その日建設計が審査委員会に提出した図面に、わたしはひきこまれた。そこには「武庫川タリアセン」と記されていたからだ。フランク・ロイド・ライトが営んだ米アリゾナの工房に由

来する呼称。日建設計による未来図は、ライト風の水彩画調で甲子園ホテル時代から残る豊かな緑のなかに、旧ホテル(現・甲子園会館)と、新たに登場する校舎をゆったりと配した情感あふれるものだった。

恐らくは、この図面を描き得た時点で、プロポーザルの帰趨は決ってしまったに違

いない。旧甲子園ホテルへの敬意がそこには横溢せんばかりに充満していた。その敬意を出発点にどのようにキャンパスを築き上げるか、完成した姿を眺めるとき、歴史への敬意と未来に向けての創造がほどよい均衡を示し、高い次元での成功が収められたことを実感した。

旧甲子園ホテルという偉大な遺産を前提に、保守的で無難な選択の検討があったに違いない。しかし、日建設計の川島克也と岡田耕治が手がけた「建築スタジオ」の校舎は、たおやかな水彩調の風景画に収まるものではなかった。十分に挑戦的、挑発的であり、教育機関が持つべき進取の気風を空間として実現させた。

3階建て低層の校舎で、最高部の高さに到達しているのは、エレベーターのボックスである。川島らは、この背の高いボックスに旧甲子園ホテルと同種の黄土色の横長のタイルを貼った。このタイルは、いわば旧館との応答の媒体である。そしてまた、このタイルは建物の中央に位置するアトリウムの3階までの巨大な内壁にも貼られている。その意味では、これは旧建物への新建築物の設計者からの敬意の表現なのだが、大胆に言い切ってしまうと、このタイルの援用は最小限にとどまるエクスキューズにさえ思える。設計者たちは過去との連携はそこで完結させて、低層の建物により創造的な仕掛けを施すことで、ライト=遠藤の遺産に応答しようとしたのである。

こだわったのはPCのグレーの肌合いと、切れ味のある水平、垂直線の交差である。外観では長く伸びる水平の庇と、その下に等間隔で並ぶルーバー(柱)の垂直線が、この建築の印象を支配している。水平線はもちろんライトの作品の最大の特徴であり、長大なPCの庇は、新校舎が、すでに存在する旧ホテルが敷地内に構築した空間の秩序に従っていることを印象づける。一方、垂直のルーバーの列は、盛期モダ

ニズムの空間のリズムを想起させて、表現の時代のコマを一步進めた感がある。しかも、それはタイルではなく、コンクリートの抑制されたグレーの直線となって、緑豊かな空間をモジュールの単位に区画している。これぞ、ライトの建築がモダニズムの原点であることへの、現代の設計者による敬意の表明と受け止めた。

インテリアも意欲的だ。アトリウムの厳格な空間構成は、既存の大手設計組織の作品から一步踏み出した密度を実現している。トップライトから差し込む自然光が、壁や床にルーバーの連続する影をつくりだす。タイル、コンクリート、金属、近過去から現代までの多様な素材が、その光と影の洗礼を受けて、より素材感を強めている。それらはここで学ぶ者たちへの、造形を伴った材料教育なのだ。昇降に使うのは、踏み板が宙に浮く圧着工法によるやはりPCの階段。コロニアルのスタイルも思わせる、細い円柱と手すりに囲われたアトリウムは、モダニズムの来し方行く末を、日常的に考えさせる仕立てでもあろう。

スタジオ的な利用が想定されている教室や廊下にも、ヴォールト天井など多様な建築のヴォキャブラリーが込められている。この建築学科の学科長である岡崎甚幸教授は、1年生を旧甲子園ホテルの空間で学ばせ、上級学年に進むと新校舎に移

まつば かずきよ
1953年 神戸市生まれ
1976年 京都大学建築学科卒
1976年 朝日新聞入社
建築におけるポスト・モダンを巡る評論活動を展開するほか、都市全般、消費社会、演劇、サイバースペースに至るまで幅広く言及。
「近代都市と芸術展」(東京都現代美術館・ボンビドーセンター共催)をはじめ、展覧会の監修も手がける。

動させるプログラムを用意していると聞いた。ライト(遠藤)の空間で、ヒューマンスケールの建築の理想を体感させて、建築の基礎を身につけたうえで、より創造的な研修に臨むという発想なのであろう。旧甲子園ホテルはもちろん、川島らの手がけた新校舎も、そうした教育者の想定を十分に満たす水準に到達しており、今後の人材養成に大きな期待がかけられる。

新校舎の緑化された屋上から、初めてゆっくりと旧甲子園ホテルの全容を堪能しながら眺めた。外装も適宜、原形を崩すことなく更新され、美しさは一段と際立って見える。内部の保全、改装も実的確であり、豊かな関西の建築土壌に開花した大輪の花は、時代を超えて咲き誇り続けている。帝国ホテルの豊かな細部と、自由学園の質素な仕立てとを、たして二で割ったほどのよさが、旧ホテルにはある。その意味では、日本におけるライト式建築の完成形がここに存在している。

遠藤新という日本の建築家が、近代において欧米の発想を自らの血肉として体得していった到達点を間近にしながら、若者たちはどのような日本の建築家に育っていくのだろうか。新校舎で示した現在の建築家たちの解釈も踏まえて、次代を担う人材を腰をすえて育ててもらいたいと願うばかりである。



未来の建築家を育てる場

設計 川島克也・岡田耕治

今回、私たちはコンペで武庫川女子大学建築スタジオの設計者に選ばれました。世界水準の建築家教育をめざして6年一貫の建築教育を行う、女子大としては初めての建築学科であり、しかもすぐ横には名作「甲子園会館」があるという、建築に携わるわれわれからすればなんと素晴ら

しい条件が整っていましたから、この仕事は絶対にやってみたくて思いました。コンペの要項からは、スタジオと講評室に対する学校側の思いが非常に強いと感じました。欧米の建築教育のように小グループに分かれて課題を行い、先生方や他の学生たちが取り囲む中で講評するという

教育風景を理想とする大学側の考えをわれわれなりに読み解いて、コンペ案を提出しました。

2005年10月末に設計者に選定され、それから年末までのおよそ1ヵ月半の間に今の建物の原型をまとめました。当初私たちは、吹き抜けの講評室をスタジオが

多層にわたって口の字型に取り囲むという、甲子園会館の屋根型のスケールを強く意識した構成を考えていたのですが、建築学科長の岡崎甚幸教授をはじめとする大学側のお考えは、将来的にもユニバーサルな使い方ができるような約500m²の長方形のスタジオがほしい、ということでした。500m²のスタジオを3つ積み重ねたときに建築が全体として単調になることを恐れ、たとえば最上階のスタジオだけでも口の字型に変形させられないかと思ったのですが、3フロアを均一に、というのが大学側の強い要望でした。われわれは、講評行為そのものがこの建築の核であり、それがここで展開される大学生生活の中心になるようなものになりたいというコンペ時の考えは守りつつ、3日と空けずプランと模型をつかって提案しては先生方とのディスカッションを行い、また別のプランを練るということを繰り返しました。結局30案ほど模型をつくりました。岡崎先生はご自分が考える教育の発信の仕方については確固たるお考えをお持ちでスタジオの形に最後までこだわられました。学生は、午前中講義を受けて、午後はスタジオにこもって課題を行う。スタジオは学生が一番長く居る場所で、そこに教授や助手が来てさまざまな会話を交わす。建築家というのは、設計だけに限定されるのではなく、極めて広い文化的な素養の中での統合者だというのが岡崎先生にはあったのです。

大学側の思いを汲み取りつつ、核となる吹き抜けの有り様や、内と外とのつながりに意を尽くしたランドスケープデザインにより、恵まれた外部環境を内部に持ち込んで融合させたのが今の建築の原型です。

岡崎先生が重視していたのは、学生たちが自分の手を動かしてつくった全員の作品を展示して、次の課題が出るまで、自分の作品も人の作品も毎日目にするとい



かわしま かつや
設計部門副代表



おかだ こうじ
設計部門設計主管

うことでした。われわれはそれをどう建築空間化するかを考えたわけですが、通路の幅を約4.5mとし、真ん中に置いた展示パネルは展示がないときのことも考えてガラスにする、展示照明も装置として組み込むという提案をしました。いわば、吹き抜け空間を中心にスタジオや教員室がギャラリーでつながれていくという空間構成です。

甲子園会館についてはもちろん意識していました。会館と建築スタジオを同化させるのか、あるいは対比的に扱うのが大きな課題でしたが、幸いこの二つの建物の間には森があり、学生は二つの建物を一日に何度も往復するのですが、そのたびに森の中に入るわけです。この自然の中の往き来がいいなと思い、70年の歳月とその歴史をすっきりと切り替えることにしました。

今回採用したプレキャストコンクリート(PC)構造は京都大学桂キャンパスの設計で経験していました。住宅地に新しく京大工学部のキャンパスをつくるために、近隣配慮や環境配慮、工期の面を考慮してPCを使ったのですが、その中でPCのPCたるところをつかんでいきました。ここではコストをセーブしながら何ができるかに挑戦しました。要は、耐震要素をPCに組み込むことはしないで、鉛直力だけを支えることに徹したほうがよりPCらしさが純化されるということです。したがって、PCを耐震要素とは切り離して、独立した壁としてデザインしました。建築学科の建物ですから、この建物の成り立ちを全部見せることで、構造的な力の流れ、耐

震とは何か、などが学生たちに肌でわかるようにしたいと考えました。プレストレスを入れて強くした梁は端部を見るとテンションがどんな風に入っているかが理解できるようになっていますし、耐震壁は柱のグリッドから離してタイルを貼り、その壁が自然の光を受けて豊かな素材感が



生きるようにトップライトなどの仕掛けを組み込みました。スタジオは3分割できて、それぞれに空調機がありますが、空調機はコの字型の耐震壁に納めてガラス張りにして見せています。建物を教材として全部見せる、というのはコンペでも提案した考えでした。

建物をセットバックさせ屋上を緑化するという案は学校側からずいぶん評価していただきました。また、この建物から甲子園会館を象徴的に見せるスポットをつくりたいと思っていたのですが、屋上の芝生広場がベストビューポイントになりました。

このプロジェクトでは、最後まで設計者として非常に濃密な時間を過ごしたという実感があります。基本設計をまとめるまでの大学側とのやり取り、それが終わってからは実施図書の作成、現場に入ってからPCで「逃げ」がない工事をどうするかという課題に毎日直面しました。現場が無事完成し、安堵を感じると同時に大変嬉しく思っています。



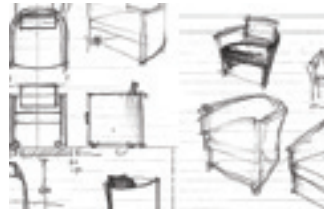
日建スペースデザインのプロダクトデザイン



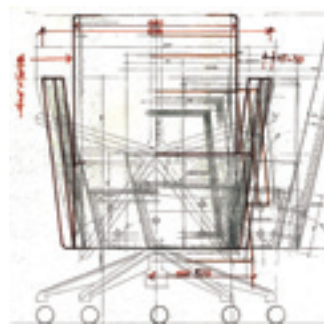
日建スペースデザイン
片山 賢
(かたやま けん)

イスの制作プロセス

1. スケッチ
何十枚も書きます。一巡して見失ってまた悩みます。苦しそうですが、実はとても楽しい時期です。



2. 原寸図
座り心地の良いイスになるかどうかはここで決まります。イスの原寸図を手描きで書ける人は大分少なくなっていると言われています。現在はCADが主流ですが、1つの曲率ではない曲線や張りものの曲面などは計算では表せないラインです。



3. モックアップ製作
原寸図面に忠実に作ったモックアップですが、やはり三面図では表現しきれなかったところが見えてきます。削ったり、足したりして形を追います。また同時にターゲットにしているコストに向けてのマイナーチェンジ、疲労強度試験も行います。



4. 完成
いよいよ完成です。カタログ構成、展示会ブースデザインと、デビューに向けて仕込みます。これも大切なデザインワークです。新商品のデザイン意図を市場に向けて訴求する重要なツールです。



日建スペースデザインがインテリアデザインだけではなくメーカーさんとコラボレーションしてプロダクトデザインも行っているのをご存知でしょうか。それは家具だけにとどまらず、壁クロスやドアハンドルなど多岐にわたるものです。今回は、プロダクトの中でも私が多く手掛けているイスについてご紹介いたします。

イスの基本

座るための道具

座り高さ、奥行き、背の傾きなど理想とされる数字はありますが、そのフレーム形状や張りものの形状に対してのベストな数字は毎回ミリ単位で変わります。

ヒトを支える構造体

小イス(ダイニングチェア)などは軽いものが扱いやすく良いとされます。しかし、ヒトはじつとは座っていませんから前後左右に体重が移動し、イスごと移動したりもします。背板に重心をかけて前脚2本を浮かせてフラフラと座ったり、イスに座って足を机などに投げ出したりしたことはありませんか。イスはそのとき2本、あるいは1本の脚でヒトの体重を支え、ねじれにも耐えなくてはなりません。軽くて壊れない部材の断面形状とスタイリングは毎回のぎを削る攻防です。

世の中には巨匠たちが残した名作と言われるイスはたくさんありますが、考えている空間に似合うかどうかは別です。インテリアデザイナーが自分の思い描く環境をつくるためには、空間の構成からはじまりそこにおかれるモノ、色、光、すべてにこだわり、全体のコストまで考慮して、はじめて思い描いた環境が完成します。

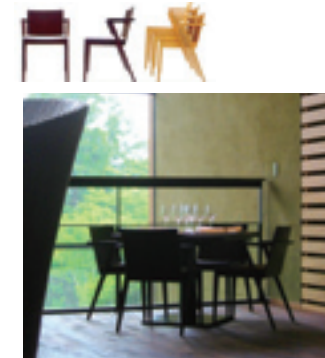
新素材や新機構といったエポックメイキングなイスはさておき、昔から「売れ続けている」イスは、往々にして奇抜さもなく、さりげなくて、どこかで見たようなかたちです。しかしどこかなく、気品があり、空間にじっくり溶け込む佇まいを持っています。そんなイスが開発できたらというつもを考えています。

右頁に私が開発したイスについて何点が紹介いたします。

RIN

このイスは肘掛けのあるスタッキング(積み重ね可)イスです。

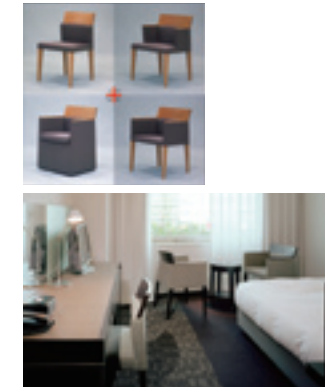
スタイリッシュなレストランをイメージしてデザインしました。テラス蔦科のレストラン、東急ホテルのダイニングに採用されています。またグッドデザイン賞も受賞しました。現在もう少し軽量化することを考えています。



MDチェア

同じディメンションでありながら肘無しから肘掛け・キャスター付きまで4種から選べます。

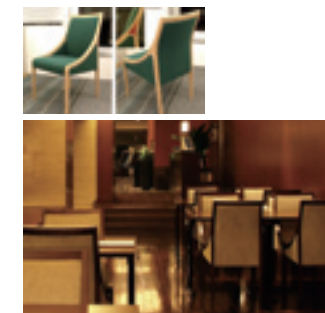
くせのないスタイルですから、木部の色と張り地により、カジュアルにでもシックにでも表情を変えます。MDとはミーティングからダイニングまで、という意味です。ホテルレオパレス博多の客室に採用されました。



ダイニングチェア

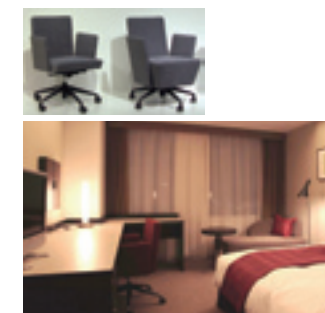
曲げ木の技術をいかしたイスです。これは内装改修物件、長野にあるホテル国際21のレストランに合わせて開発を行いました。

肘無し小イスの幅寸法でありながら、斜め後ろから見たときに張りぐるみの肘掛けイスのようなゆったりした印象です。



W-BBOARD

リクライニング付きの回転キャスターチェアです。最近のオフィスチェアは多機能でメッシュ素材を使った機械的なデザインのものが多い中、あえて布張りにこだわり、機能はリクライニングのみでも座り心地の良いオフィスチェアを目指しました。ホテルトヨタキャッセルの客室に採用されました。



COACONE

タブレット付きのチェアです。オフィスのコラボレーションエリアを想定した逆円錐形の形状は空間に軽やかな動きを与えます。研修施設に採用されました。



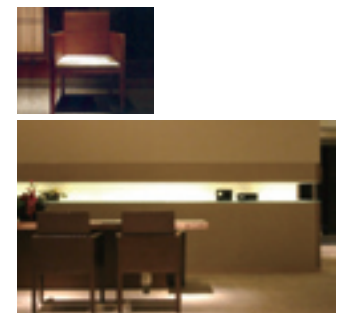
COACUBE

タブレット付きのラウンジチェアです。ホテルや空港のロビーラウンジを想定して開発した「モバイルチェア」です。単体で置くよりも並べて配置して、大きな空間の中に適度なボリュームを出す、または空間を仕切るようなレイアウトができます。稲沢市立中央図書館に採用されました。



ダイニングチェア

テラス蔦科のレセプションで特注したイスですが、メーカーさんから販売したいとお声をかけていただきカタログに載りました。形は単純ですが、その表層は脚の先まで牛革のテープで編み込んであります。



ベトナム・ハノイで
構造技術展を開催しました

超高層建築・大スパン建築等の最新構造技術とそれを適用した実プロジェクトを紹介する、日建設計構造技術展を、2007年10月8日から31日まで、ハノイ建築大学で開催し、多くの現地建築技術者や学生の方にご来場いただきました。

また、最終日には、和田章東京工業大学教授もお招きして、展示テーマに沿った講演会も開催しました。会場が満席となる程の参加者にお越しいただき、積極的な質疑応答も行われ、日建設計の構造技術を広く知っていただく良い機会になりました。



シテイスケープドバイに
出展しました

不動産業界の世界最大のイベント、シテイスケープドバイ2007が2007年10月16日から18日までの3日間、UAEのドバイ国際展示場で開催されました。

日建設計はゼロカーボンプロジェクトを柱に、省エネルギー技術、制振・免震技術、ドバイで進行中のプロジェクト等を紹介し多くの方にご来場いただきました。

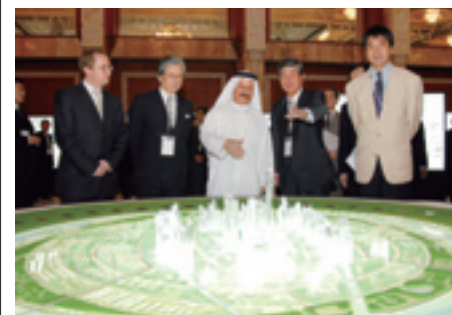
また、日建設計の設計したイスラム開発銀行に対し、途上国における優れた建築デザインを顕彰するCityscape Architectural Review Awardsが授与されました。



UAEにて

シンポジウム& 展覧会を開催しました

UAE・ドバイとアブダビにてシンポジウム& 展覧会を企画し、「日本/湾岸諸国・サステイナブル都市開発協力コンソーシアム」の主催にて、2007年11月4日、5日に同イベントを開催しました。UAEの王族・政府関係者、日本政府関係者を迎え、盛況のうちに幕を閉じました。シンポジウムテーマは「サステイナブルな街と建築づくりに向けて」で、展覧会では、都市開発に関わるイ



ンフラ、交通、建築等の各分野の日本企業11社が、各々の先端技術をコンパクト・シティ計画案になぞらえて紹介しました。

主催各社(コンソーシアムメンバー)

株式会社久米設計、三洋電機株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社土屋組、東京ガス株式会社、株式会社東芝、株式会社日建設計、株式会社日立製作所、フィグラ株式会社、松下電工株式会社、株式会社山武(11社50音順)



ベトナム・ハノイに
駐在員事務所を開設しました

ハノイ駐在員事務所は旧市街地の北側、バーディン区イエンニン通りにあります。ホアンキエム湖まわりのビジネス街や当社設計のホテル日航ハノイまで車で20分弱の40m²ほどの小さなオフィスです。

NIKKEN SEKKEI LTD/NIKKEN SEKKEI CIVIL ENGINEERING LTD
Hanoi Representative Office
18 Yen Ninh Street, Ba Dinh District, HaNoi, Vietnam
TEL: +844-715-2013 FAX: +844-715-2014

UAE・ドバイに

駐在員事務所を開設しました

UAEでは大規模開発が活発になっており、日本政府・日本企業も中東に対して積極的に関係強化を図っています。当社も、中東での仕事が増加し、このたび駐在員事務所を開設しました。現地では環境配慮技術とデザイン力が高く評価されています。

Dubai Representative Office
Sh. Zayed Road, Mazaya Center, Entrance A,1F P.O.Box 26803, Dubai, UAE
TEL: +971-4-343-4269
FAX: +971-4-321-8660

ISOに基づく品質・環境マネジメントを
継続しました

当社の品質および環境マネジメントシステムについて、2007年9月に外部審査員による適合性審査が実施されました。結果、両システムとも適合性が確認され、登録を維持しております。多くの企業の環境マネジメントシステムは、マイナスの環境影響を防止するためのシステムですが、地球環境にやさしい建築を設計することでプラスの環境影響をもたらす日建設計のシステムは高い評価を得ています。

<維持登録内容>

- ・登録組織 株式会社日建設計
- ・適用規格 ISO9001:2000およびISO14001:2004

受賞から

最近の主な受賞をご紹介します。



泉ガーデン
ARCASIA AWARDS2007/
2008
アジア建築家評議会(ARCASIA)



NHK徳島放送会館
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会

第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



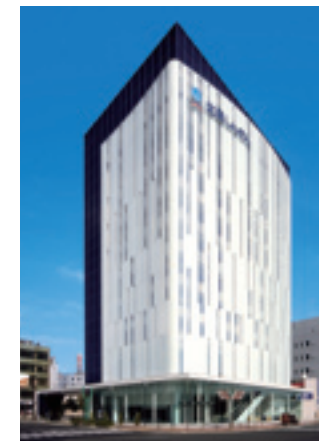
鈴鹿市立旭が丘小学校
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会



秋田拠点センター AL☆VE
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会



ロックビレイビル
2007年日本建築士会連合会賞
(社)日本建築士会連合会
優秀賞



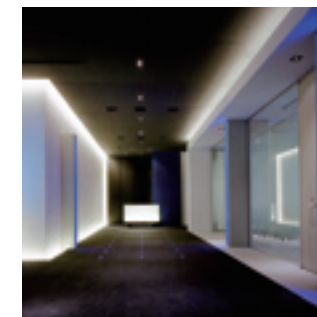
北見信用金庫本店
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会
北海道日建設計



東京ミッドタウン
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会



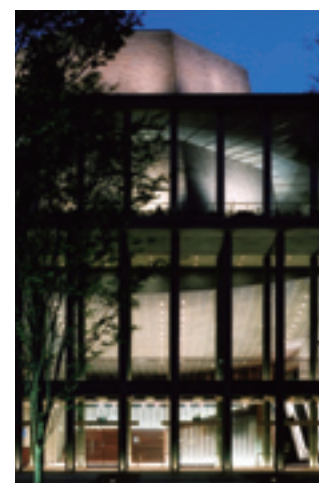
ワールドシティタワーズ
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会



キャドセンターメディアスペース
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会
日建スペースデザイン



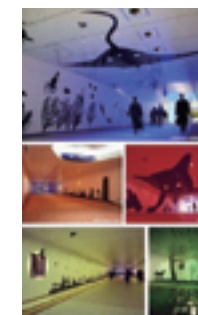
流山おおたかの森
ショッピングセンター
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会
日建スペースデザイン



兵庫県芸術文化センター
第48回BCS賞(建築業協会賞)
(社)建築業協会



ミッドランドスクエア
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会



A Tale of Stray Kittens
—異世界旅行描絵図—
(ルーセントアベニュー)
2007年度グッドデザイン賞
(財)日本産業デザイン振興会



2007年度国土交通大臣表彰
建設事業関係功労者 中井 進

受賞から

最近の主な受賞をご紹介します。



ひろしま美術館
第5回日本建築家協会(JIA)
25年賞
(社)日本建築家協会



日建設計東京ビル
第8回日本建築家協会(JIA)
環境建築賞
(社)日本建築家協会
一般建築部門 優秀賞



エプソンイノベーションセンター
第8回日本建築家協会(JIA) 環境建築賞
(社)日本建築家協会 一般建築部門 入賞
・
第3回日本建築家協会優秀建築選 (社)日本建築家協会



成田国際空港
第一旅客ターミナルビル
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



東京ガス ガスの科学館
“がすてなーに”
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



大阪弁護士会館
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



総合地球環境学研究所
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



龍谷大学大宮学舎
大宮図書館改修
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



広島修道大学ピアノ練習棟
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



朝日新聞阪神支局
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



慈愛会谷山病院
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



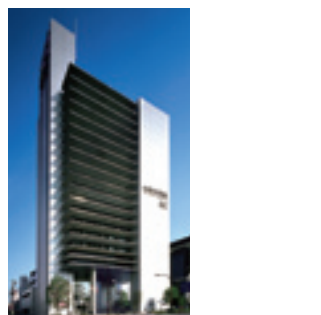
フジテック滋賀製作所
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



京都リサーチパーク8号館
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



げんき広場にいみ
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会



山陽新聞本社ビル
第3回日本建築家協会優秀建築選
(社)日本建築家協会

日建設計「都市経営フォーラム」
ダイジェスト 大隈 哲(日建設計総合研究所)

第233回 2007年5月17日

環境イノベーションによる新しい文化の創造

山本良一 (やまもと りょういち)
東京大学生産技術研究所 国際・産学共同センター教授

講師の山本良一氏は1946年生まれ。1969年東京大学工学部冶金学科卒業。1992年東京大学生産技術研究所教授。主な著書に『地球を救うエコマテリアル革命』『環境技術改革の最前線』『サステナブル経済のビジョンと戦略』等多数。

加速から暴走へ向かう地球温暖化

過去70万年間、温室効果ガスである炭酸ガスの空気中の濃度は180ppm～280ppmだった。ところが、産業革命以後の200年の短期間で100ppm増えて380ppmになってしまった。さらには、100年と言われていた炭酸ガスの寿命が、実は3万～3万5000年だと分かった。

第4次IPCC*レポートは、90%の信頼性で地球温暖化が進行しており、しかも温暖化が加速しているという結論を出した。地球の表面温度の上昇速度は、100年で0.8℃だったものが最近10年では0.2℃にスピードアップされている。

北極の海氷が、トルコの面積にあたる72万平方km消滅した。このままでは、北極海氷は、後8年で消える。氷がなくなると、太陽光が反射されなくなり、温暖化はさらに加速する。シベリアでは、フランスとドイツを合わせた広さの巨大湖が出現し、温室効果ガスであるメタンガスが噴出。30年間で平均気温が2℃上昇した。

気象リスク回避のための許容温度上昇幅は何度か

昨年のイギリスのスターン報告書によれば、平均温度が1.5℃上昇すると100万種以上の動植物が絶滅し、2℃を超すと水不足・マラリア・飢餓・沿岸洪水などが発生し、3℃突破で気候が崩壊する。過去50年で地球の表面に蓄積されたエネルギーは、人類が毎年使う量の400倍。その8～9割が海に蓄えられ、氷の融解、大気の温暖化、陸地の温暖化、海洋の温暖化に作用している。直ちに温室効果ガスの排出を止めても、海に蓄えられた熱で、温暖化は直ぐには止まらない。地球の気候システムには、熱的慣性があるためである。早期対応しなければ、地球温暖化の「ポイント・オブ・ノーリターン」に至ってしまう。

都市経営フォーラムの全文は、ホームページに掲載されていますのでご覧ください。
<http://www1k.mesh.ne.jp/toshikei/>

ポツダム研究所によれば、既に0.8℃温度が上昇し、さらに熱的慣性で0.5℃、社会インフラの高効率エネルギー化改善のために0.5℃上昇するので、1.8℃は上昇すること。日本のアースシミュレーターは、上昇温度が2028年には2℃、2052年には3℃を突破と計算している。

地球温暖化の暴走が始まる「ポイント・オブ・ノーリターン」まで10年しかない。

今からやるべきこと

アル・ゴア氏は「今の一番の問題は、世界の政治・経済のリーダーに危機感、切迫感が全く欠けていること」と言う。京都議定書にある先進国の温室効果ガス排出5.2%削減というのは、年間約10億トンのCO₂を減らそうということ。しかし、既に年間275億トン排出し、152億トンが空気中に溜まっているので、10億トンでは焼け石に水。日本は7,540万トンの削減だけれど、8%増やしているから1億5,000万トン減らさなければならない。

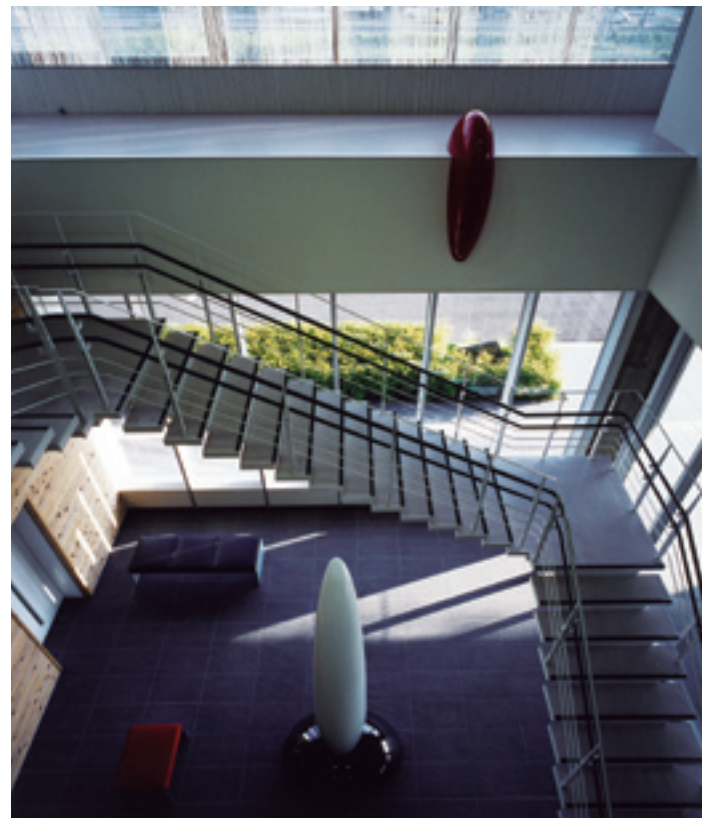
環境問題は、この1年間で世界情勢が一変した。エクソン・モービル社が石油産業もCO₂排出量を削減すべきと認め、ブッシュ大統領も10年以内にガソリンの2割削減を説き、大企業が排出量取引制度の設立を大統領に申し入れた。日本は国の将来の方向を決めてしまいかねない瀬戸際にある。IPCCのレポートの発表に対し、新聞各紙が報道したように、国家の目標を設定しなければならない。

環境イノベーションの振興と普及には、次の国家戦略が必要。1つ目は、国家目標。国の総力を挙げて、2050年までに温室効果ガスを8割削減する。2つ目は、環境効率や環境性能の高い製品による環境付加価値の可視化・ユビキタス化。3つ目は、環境の経済化、市場化である。

最後に、日本は、早急に排出量取引市場を国内につくり上げ、来年の洞爺湖サミットでリーダーシップを取るべきである。

* IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change 気象変動に関する政府間パネル

竣工しました



秋田魁新報社 さきかけ印刷センター

新聞「秋田魁新報」の印刷・発送を行う印刷センターです。周辺の環境と調和するように緑化や施設景観に配慮しました。建物は印刷作業の主スペース(刷版、印刷、梱包、事務)を同一フロア化し、作業効率の向上を図ると共に、将来、稼働しながら輪転機の増設・更新が可能な計画としました。

建築主 株式会社秋田魁新報社
所在地 秋田県秋田市
構造 鉄筋コンクリート造、
鉄骨鉄筋コンクリート造
階数 地上3階
敷地面積 15,412.34m²
延べ面積 6,995.79m²
工期 2005年11月～2007年3月



名古屋学芸大学 メディア造形学部D棟

2002年に竣工したメディア造形学部棟の狭隘化に伴う、学生演習室の増築計画です。敷地は本キャンパスから南へ300mの位置にあります。本キャンパスと連携したデザイン、快適な居住環境、フレキシビリティのある建物をテーマに計画しました。外観は溝型ガラスとコンクリートの組合せによるシンプルなデザインとしました。

建築主 学校法人中西学園
所在地 愛知県日進市
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
階数 地下1階、地上2階
敷地面積 4,022.64m²
延べ面積 2,841.17m²
工期 2006年5月～2007年2月



竣工しました



軽井沢町保健福祉複合施設 木もれ陽の里

信濃追分駅の南側に、保健と福祉の拠点として計画されました。施設は「運動トレーニング室」、「水中運動室」、「温泉利用の浴室」等の町民への健康増進を図る建物と、高齢者、障害者を支援する建物から構成されています。全ての使用者が快適に使いやすいことを目指したユニバーサルデザインとなっています。

建築主 軽井沢町
所在地 長野県北佐久郡
構造 鉄筋コンクリート造、木造
階数 地上2階
敷地面積 22,206.78m²
延べ面積 5,686.54m²
工期 2005年6月～2007年3月



瑞浪市地域交流センター ときわ

地域の人がとが憩い、交流を育む中心市街地の拠点となる施設です。誰もが利用しやすく、安全な施設となるように計画しました。維持管理費の低減に配慮した地球環境にやさしい施設です。

建築主 瑞浪市
所在地 岐阜県瑞浪市
構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造
階数 地上2階
敷地面積 1,349.6m²
延べ面積 1,176.07m²
工期 2006年9月～2007年6月



仙台ファーストタワー（第1期）

仙台市の都市再生特別地区の適用第1号となる建物です。今回は1期の事務棟が竣工し、2期の商業棟は2009年5月の竣工予定です。事務棟は免震構造とし、使いやすい共用部の計画など付加価値の高いオフィスを目指しました。各階の窓側外周部に照明を配置し、ビル全体が光の帯として発光する仕掛けになっています。（設計：大成建設、設計監修・監理：日建設計）

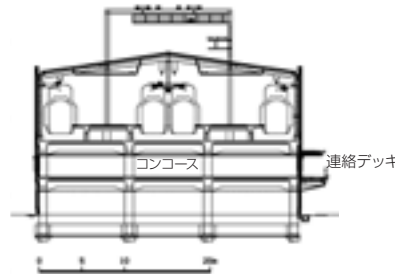
建築主 仙台一番町開発(SPC)、株式会社みずほ銀行
所在地 宮城県仙台市
構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨造(免震構造)
階数 地下2階、地上24階
敷地面積 2,436.84m²
延べ面積 24,339.61m²
工期 2005年9月～2007年6月



日建設計シビル	日建ハウジングシステム	北海道日建設計	日建設計総合研究所	日建スペースデザイン	日建設計 マネジメントソリューションズ	日建設計 コンストラクション・マネジメント	ブロードバンド・ エンジニアリング	ビルディング・パフォーマンス・ コンサルティング
---------	-------------	---------	-----------	------------	------------------------	--------------------------	----------------------	-----------------------------

日建設計シビル

株式会社 日建設計シビル
 大阪市中央区高麗橋4-6-2
 Tel: 06-6229-6399 Fax: 06-6229-3381
 URL: <http://www.nikken-civil.co.jp>



西鉄天神大牟田線 花畑駅付近連続立体交差・花畑駅

鉄道関連業務の取り組みにおける、連続立体交差事業と耐震対策業務についてご紹介します。

連続立体交差事業は鉄道で分断された地域の交通や市街地の一体化を図るために実施されます。規模が大きく街づくりに深く関わるため、地方自治体が事業主体となり、都市計画事業として行われます。事業費の大部分は道路特定財源で賄われています。

西鉄天神大牟田線 花畑駅付近連続立体交差事業
 本地区は、久留米市の中心商業地の一角に位置し、今後発展の期待できる地域です。事業は約2kmが対象区間で6箇所の踏切が除去され、歩行者の安全確保や交通渋滞解消、分断された市街地の一体化が図られました。また、駅前広場や街路の整備も合わせて実施されるなど鉄道との結節機能が強化され、さらに地域景観に配慮した花畑駅舎のデザイン(設計:日建設計)など、良好な市街地の形成に寄与したことで「第19回全国街路事業コンクール」で特別賞を受賞しました。

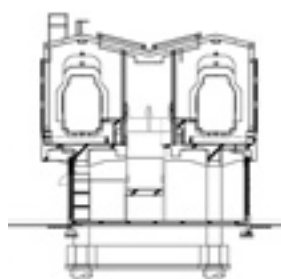
西鉄貝塚線 香椎駅周辺連続立体交差事業

本地区は福岡市の東の副都心として位置づけられ、副都心形成が目指されています。事業の対象区間は約3.1kmで、香椎駅、香椎宮前駅、千早駅の3駅が高架化されました。また、花畑駅付近の事業同様に駅前広場や街路の整備も合わせて実施され、良好な市街地の形成を目指しました。

当社では現在さらに西鉄天神大牟田線の春日原～下大利駅間の連続立体交差事業や大阪(阪急)、名古屋(名鉄)地区で同様の業務に取り組んでいます。

耐震補強

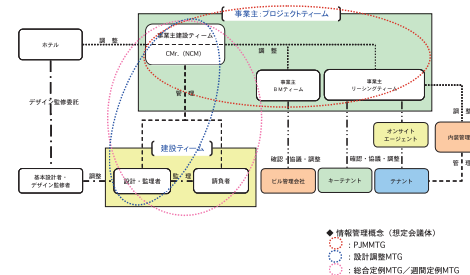
鉄道関連施設は大地震に備えて耐震補強対策が急ピッチで進められています。阪神淡路大震災以降に普及した解析技術(動的・静的非線形解析)を駆使して東海道新幹線(JR東海)や西鉄など既設鉄道施設の耐震補強にも取り組んでいます。



西鉄貝塚線 香椎駅周辺連続立体交差

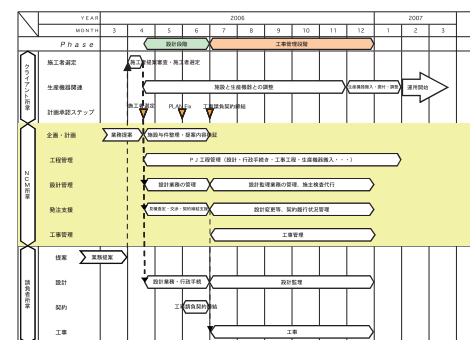
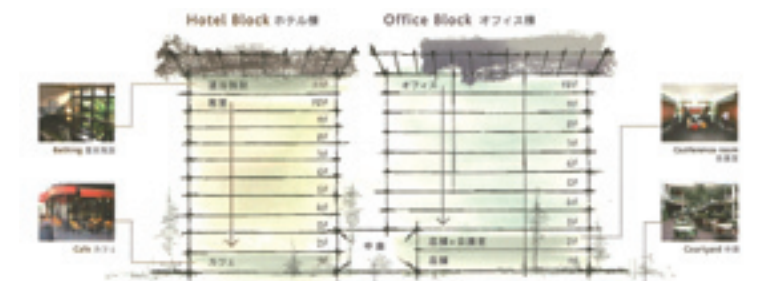
日建設計コンストラクション・マネジメント

日建設計コンストラクション・マネジメント 株式会社
 東京都千代田区飯田橋2-18-3
 Tel: 03-3265-4300 Fax: 03-3265-4303
 URL: <http://www.nikken-cm.com>



熊本辛島町プロジェクト 新築工事 CM業務

【用途:事務所・店舗・駐車場、構造:鉄骨造、階数:地上10階、延べ面積:10,966m²】
 住宅デベロッパーが手掛ける賃貸事務所開発プロジェクトで、アトリエ系事務所の設計・監理、中堅ゼネコンの一括請負工事として進行中です。
 当社がプロジェクトチームの中心となり、事務所ビル建設の経験の浅い事業主が、多くの関係者のそれぞれの立場で発信する情報に左右されないように、プロジェクトマネジメントを実践し関係者の役割・権限・責任を明確にして、建設組織を効率よく管理する仕組みを構築しました。工事発注も隣接計画とのしがらみを排除した戦略のもと、迅速に遂行し、予定工事費の1割安で発注できました。現在、来春の建物運用開始を目指し仕上げ工事にかけかっています。



大同ブレーンベアリング関工場 新築工事 CM業務

【用途:工場、構造:鉄骨造、階数:地上2階、延べ面積:24,117.69m²】
 大同メタル工業(自動車部品メーカー)関連会社の事業拡大に伴う新工場建設計画で、設計施工者選定段階から竣工まで参画したプロジェクトです。
 参画時には既に指名ゼネコン3社からの提案書が提出されており、明確な選定評価基準が不透明なまま計画が推進されつつありました。当社としては、仮の評価基準を設定し建物仕様評価や見積内容評価を実施することで、発注の透明性を確保することができました。設計与件の整理・設計内容の調整を行うなど、情報処理のハブとして機能し、建設専門家の少ない事業主の技術的検証役としてプロジェクト推進をサポートしました。また、設計施工一貫方式に多く見られる監理者不在の品質管理体制に対して、事業主の代行役として現場での品質確保の確認を行い、変更管理の監視を強化することでコスト管理に透明性を確保できました。

